

令和6年春季駐車場研修会参加レポート

日本ガレージサービス株式会社

代表取締役社長 小清水 琢治

2024年3月1日(金)、東京駐車協会主催・全日本駐車協会後援「令和6年春季駐車場研修会」に参加させて頂きました。団長の竹歳様、副団長の後藤様を始め、総勢参加者41名にて開催されました。徒歩がメインの行程で進行されましたが、多少風は強かったものの天候に恵まれ、池袋エリアの歴史や再開発について学ぶ機会となり良かったです。

行程：

1. WACCA池袋駐車場視察
2. 豊島区都市整備部講演会「池袋のまちづくりとウォークアブルの推進について」
3. ハレザ池袋、南池袋公園視察(豊島区様、東京建物様ご案内)
4. アニメ東京ステーション視察(藤久ビル)
5. 自由学園明日館視察(フランク・ロイド・ライト設計重要文化財)
6. 意見交換会(明日館)

池袋エリアを訪れたのは個人的に30年ぶりでしたが、近代化されており、街の様子に年月の移り変わりを感じました。30年前はサンシャイン60が、ひと際そびえ立っていた印象しか残っていませんが、タワーマンションやオフィスビルと高層建造物も増えている中、今もなお池袋のシンボルとして存在しており、街の顔として大きな役割を果たしている事をしみじみと実感しました。

研修スタートはWACCA池袋の駐車場からとなりました。

栄真株式会社 簾栄一郎社長他より、お忙しい中丁寧にご案内頂き、同業者として気付きが多く大変参考になりました。池袋に根付き68年の歴史の中ビジネスを展開されています。駐車場においても創業の頃の想いをのせ「世界一ハッピーな駐車場」というキャッチフレーズで、B1からB4にかけビルに併設された、ループ構造の100車室ある駐車場です。池袋エリアは空き駐車場が少ないこともあり、当ビルの附置義務は45台である事から、近隣ビルの附置



WACCA池袋 駐車場

義務駐車場の隔置を受入れ、豊島区の交通政策にも貢献している駐車場となっています。

最初に印象に残ったのは駐車場が非常に明るいということ。車路の照明以外に壁側にも照明を設置し、壁面の白い塗装に反射させて効果的に明るくなる工夫がなされていました。フロアによって柱の色も変え、自分の停めたフロアも思い出しやすく工夫されています。階段には各フロアの色分けが分かり易く掲示されていて、痒いところに手が届くお客様に優しい工夫が細部に施されています。

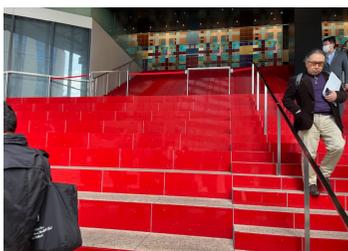
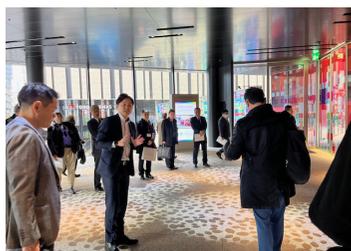
次に二つ目の訪問先Hareza池袋にある、としま区民センター会議室にて「池袋のまちづくりとウォークブルの推進」について、豊島区都市整備部 松田芳隆課長に講演を頂きました。

【「人が」主役のまちづくりでもっと歩きたくなる池袋に】がコンセプト



再開発は行政主導で推進されたとのこと。建物等のデザインも統一感が際立ち、複数の開発事業者を上手にコーディネートされた事が見受けられました。ファサードとしての建物のデザインがスマートな雰囲気を醸し出しています。全ての電線も地中に埋めた等の話も伺いました。前区長の想いも強かったとの事で、多くのアイデアが反映されており、地元を愛する行政のスタッフの方々の情熱が伝わってきます。「歴史と伝統を大切に」というコンセプトを基に、皆さんのチームワークと情熱の集大成である事がうかがわれました。

再開発された一部を担当する東京建物より、調和のとれたデザインのブリリアホールとTOHO CINEMAの施設のご案内を頂きました。



ブリリアホールとTOHO CINEMA、区民センターも含めてビルのデザインは統一されており、ビル室内もガラスが大きい設計であり、室内に上手く光が取り込まれています。階段もデザイン上の遊び心が施され、上から降りてくる際(前ページ下段右の画像)には目立たなかった赤色が、下から見上げると真紅の壁の様にも見えます(白黒画像だと分かりにくいですが)。この階段で地元の学校によるコンサート等が行われ、外の人達もガラス張りになっている事から楽しめる事ができ、地域の為の施設となっています。

街中から少し歩き、次に豊島区様のご案内で、お洒落に整備された南池袋公園を視察しました。

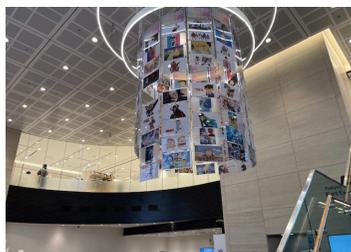


公園の地下には地下鉄や東京電力の設備等があると説明を受けましたが、一帯はお洒落なカフェもあり、非常に静かで落ち着いた空間が演出されていました。天気も良い事から子連れの方やカップル等若い人がたくさんくつろいでおり、癒しの空間となっていました。

昔は浮浪者の方が多く炊き出しなどしていた公園で、近隣住民からのクレーム等も多かったと聞きましたが、様々なアイデアから今では維持管理費以上の収益も確保出来ているとの事、再開発がもたらす成功例の一つだと思います。

次にアニメ東京ステーションの視察に徒歩にて移動。

藤久ビル五号館のエントランス部分から中にアニメ関連の展示物も良く見えていました。中に入ると鉄腕アトム等昭和当初のアニメから、最近のアニメまで幅広い展示物が天井から飾られ、アニメファンには入口から興奮してしまいそうな演出がされていました。

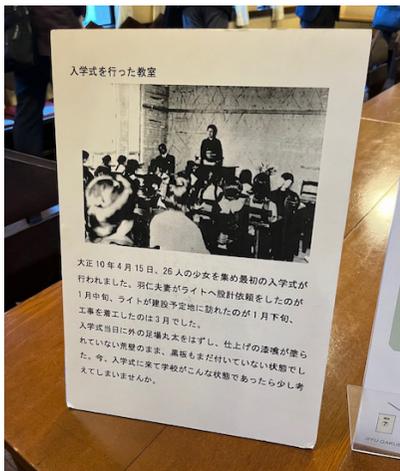


建物に入り一階部分で株式会社ムラヤマ、セクションリーダー池上館長からのご説明を受けました。当施設の存在意義など、知らない事もあり知識も増え勉強になりました。事業主体は東京都、運営管理は一般社団法人日本動画協会となります。

アニメは日本文化の重要なカルチャーとして捉え、昔のアニメ制作会社が古いセル画等を保管し切れず捨てていたものを、行政が文化保存の一環で引き取って保管していたものの、保管するだけでは勿体ないという状況を改善すべく、日本動画協会と組んで公開がスタートしています。年10万人来場施設を目標にしているとの事です。

半日池袋の新しいパートを歩いて観て回りましたが、最後に池袋の歴史の部分に触れる場所へと向かいます。

最後の視察場所として、重要文化財となっている「自由学園明日館」を訪問しました。建築に関わらない人でも一度は聞いた事がある、帝国ホテルも手掛けた巨匠フランク・ロイド・ライト氏が設計した作品となります(私はこの日初めて知りましたが…)



歴史は古く、103年前の1921年にフランク・ロイド・ライト氏に設計を依頼し建築された建物。昔子供の頃母親が読んでいた記憶がある「婦人之友社」の雑誌を発行している会社で、オーナーの羽仁夫妻が設計を依頼したそうです。隣の敷地に婦人之友社本社があり、佇まいが昭和な感じを出しており、懐かしい雰囲気のある住宅地の一角でした。ご夫婦がキリスト教信徒である事から、デザインも協会風の感じもあり、お洒落な建造物となっています。

そんな歴史ある建物の中のレストランで研修の締めくくりとして、意見交換会を開催致しました。



地元池袋愛に溢れた、副団長 後藤様のご挨拶と乾杯により意見交換会を開始
随所にフランク・ロイド・ライト氏らしいデザインが見られ、タイムスリップした様な気分
になりつつ、一日一緒に散策・視察した事を会員メンバー様と話しながら交流を楽しみました。



時間が経つのは早く、最後に軽快なジョークを交えた団長 竹歳様の中締めのご挨拶を頂き、
春季研修会を滞りなく終了致しました。

今回の研修も事務局の方々のご尽力、ご協力頂いた方々に心から感謝申し上げます。最後に、
東京駐車協会と全日本駐車協会及び、会員各社様の益々のご発展と、関係各位のご健勝をお祈り
申し上げます。

どうもありがとうございました。

以上